

# 農事組合法人白鳥ファーム（岐阜県池田町）

## 組織の概要

- 水稻を中心に小麦、大豆を生産。経営面積は約122ha（R4年）。
- 平成18年に法人を設立、構成員は38人（R4年）。
- 従来からの相対契約に加え、近年は農地中間管理機構を通じた農地貸借による農地集積や農作業受託により、池田町及び隣接する神戸町で大規模生産に取り組む。
- ほ場ごとの高低差が大きく狭小農地も多い地域で、1,000枚を超えるほ場を管理する。

## 生産概要

- 【作付面積】水稻：41ha、小麦：80ha、大豆：80ha（R4年）。
- 水稻-小麦-大豆の2年3作体系を中心に、一部、小麦-大豆の二毛作による営農を実施。
- 小麦及び大豆作は平成19年から開始し、作付面積は年々増加。今後も徐々に拡大予定（H19：13.4ha → R4：80ha）。
- 小麦の品種はJAいび川管内の統一銘柄「イワイノダイチ」、大豆の品種は加工適性に優れ、実需者からのニーズが高い「フクユタカ」を作付け。



<播種作業（大豆）>

## 取組のポイント

### <先進的な生産技術の導入>

- 地力の低下に対応するため、麦・大豆のほ場で土壌診断を実施し、診断結果に基づく土づくりを実施。品質向上や単収の増加を目指す。有機質資材（鶏ふん、有機質肥料）を積極的に施用。
- 大豆では、従来より狭畦密植栽培に取り組み、播種作業の効率化を図っている。

### <生産性向上に向けた機械の導入>

- 収穫作業の効率化を図るため、高性能のコンバインを導入。

### <団地化に向けた取組>

- 周辺農業者と団地化推進に向けた検討会を開催する等により農地の入れ替えの円滑化を図るとともに、地域の農業・農地を持続するため、JA、周辺担い手（法人等）と連携した団地化の推進を模索。



<コンバイン収穫作業（大豆）>

## 取組成果

### <麦・大豆生産の高位安定化の実現>

#### ■ 作付面積の拡大

【麦】R3：73.5ha ⇒ R4：80.0ha（9%増）  
〔R7目標：80.9ha〕

【大豆】R3：73.8ha ⇒ R4：80.5ha（9%増）  
〔R6目標：81.5ha〕

#### ■ 単収の向上

【麦】R3：242.7kg/10a ⇒ R4：303.2kg/10a（25%増）

〔地域平均単収（H27～R3年度7中5平均）：池田町 218 kg/10a、神戸町 253 kg/10a〕

